

第3回「地域活性化交流・観光」及び「まちづくりハウジング」専門部会

日時：平成30年10月1日（月）19：00～

場所：区役所 4－5会議室

出席者：

<有識者> 水内教授（大阪市立大学）、松村教授（阪南大学）、寺川准教授（近畿大学）

<オブザーバー> ありむら事務局長（釜ヶ崎のまち再生フォーラム）

<地域> 村井委員（区商連会長）、山田委員（簡宿組合理事長）、上田委員（ココルーム代表）

<大阪市> 西成区 : 安井総合企画担当課長、川上地域支援担当課長

経済戦略局：梅原観光施策担当課長

都市計画局：樽野地域開発担当課長

議事要旨

新規モデル事業について

- ・ 官民連携のインフォメーションとして、新今宮 AIC は観光情報と福祉情報をセットで提供するモデルケースになるのではないかと。
- ・ 空き家情報など居住支援の情報を検討する必要がある。
- ・ 防災・減災をからめたネットワークも必要ではないかと。

リノベーションについて

- ・ 実験的にリノベーションをして実例として出すのがいいのではないかと。

屋台村モデル実施の内容について

- ・ 魅力ある店舗が数か所あればエリアに人が入ってくる。
- ・ こどもやファミリー、女性が入りやすい時間帯や、プロモーション、情報発信が重要。
- ・ 集客のための規模や実施期間・頻度等を検討する必要がある。
- ・ 若者支援やチャレンジショップのしくみと、実施場所をどうするか。
- ・ 50万泊の宿泊者へのサービスをエンジンにして、地域に暮らす労働者へのサービスにつなげる2本柱が望ましい。
- ・ 誰もが楽しめるようにぎわいと、誰もがくつろげる居場所をからめることが大切。